

# 放射能関係のお知らせ

2017年4月4回(A週)

お届け日:2017/4/24~4/28

発行日:2017/4/10



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/4/6(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

## ●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	甘夏	品目で検査済	小田原
		柑橘類で検査	南伊豆
	いちご	品目で検査済	たまつくり・とちのみ・はが野・うつのみや・海上・佐原・遠州
		検査予定	北つくば
	セミール	品目で検査済	小田原
	メロン	検査予定	旭村
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園
果菜	きゅうり	品目で検査済	みちのく野菜・八千代・野菜くらぶ・邑楽館林・村悟空・サンド旭・佐原・和郷
		果菜類で検査済	谷田部・沃土
		検査予定	たまつくり
	ズッキーニ	果菜類で検査済	沃土
	トマト	品目で検査済	谷田部・葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ・沃土
		果菜類で検査済	元気会・村悟空・佐原・いちかわ
	ミニトマト	品目で検査済	あゆみの会・元気会・サンド旭・和郷
果菜類で検査済		八千代・野菜くらぶ・沃土・村悟空	
葉菜	アスパラ	品目で検査済	うつのみや
		葉菜類で検査済	あゆみの会
	大葉	葉菜類で検査済	村悟空・和郷
	かき菜	葉菜類で検査済	夢みなみ・谷田部・野菜くらぶ・沃土
		品目で検査済	谷田部・八千代・たまつくり・三浦EM・よこすか葉山・遠州
	キャベツ	葉菜類で検査済	常総産直・野菜くらぶ・沃土・村悟空・海上・佐原・和郷・三浦市
		品目で検査済	有機農法ギルド・葉菜野果・野菜くらぶ・群馬モグラ・沃土・南埼玉・佐原・風土の会
	小松菜	品目で検査済	谷田部・たまつくり・やさと・草の会・八街
		葉菜類で検査済	谷田部・八千代・有機農法ギルド・常総産直・野菜くらぶ・八街・和郷・風土の会・グットファーム
	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・有機農法ギルド・常総産直・野菜くらぶ・八街・和郷・風土の会・グットファーム
チンゲン菜	品目で検査済	あゆみの会・佐原	
	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・八街・和郷・遠州	
にら	品目で検査済	元気会	
	葉菜類で検査済	葉菜野果・野菜くらぶ・和郷	
ねぎ	品目で検査済	たまつくり・南埼玉・八街	
	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・利根川・沃土・村悟空・佐原	
葉ねぎ	品目で検査済	村悟空・南伊豆	
	葉菜類で検査済	谷田部・沃土・海上・佐原・サンド旭	
白菜	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直	
ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・サンド旭・八街	
パピーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	ほうれん草	品目で検査済	常総産直・草の会・沃土
		葉菜類で検査済	谷田部・八千代・有機農法ギルド・たまつくり・利根川・野菜くらぶ・佐原・八街・和郷・風土の会
	みず菜	葉菜類で検査済	谷田部・葉菜野果・沃土・佐原
	ルッコラ	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済	やさと・野菜くらぶ・サンド旭・和郷
		葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・沃土・南埼玉・海上・佐原・八街・風土の会
	若芽ひじき	品目で検査済	寺島
根菜	かぶ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・沃土・佐原・八街
		根菜類で検査済	八千代・風土の会
	しょうが	根菜類で検査済	和郷
	大根	品目で検査済	谷田部・海上・佐原・村悟空・和郷
		根菜類で検査済	八千代・たまつくり・葉菜野果・沃土・八街・風土の会
	長芋	品目で検査済	葉菜野果
	にんにく	品目で検査済	八峰園・田子

## ●2016年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査は全産地終了しました。

2016年産の下記の産地・銘柄は、すべて不検出です。

青森県:JA津軽みらいの青森つがるロマン  
岩手県:JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわての岩手いわてっこ  
宮城県:JAみどりの宮城ひとめぼれ  
秋田県:JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア21の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづのの秋田淡雪こまち  
山形県:JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫  
福島県:JA会津つばの会津こしひかり  
新潟県:JA北蒲みなみの新潟こしひかり・JAささかみの新潟こしいぶき・JAにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA魚沼みなみの魚沼こしひかり・JAえちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA佐渡の佐渡こしひかり  
茨城県:JAつくば市谷田部の茨城こしひかり  
栃木県:日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19検体中17検体不検出 2検体は白米で検査を行い不検出)  
千葉県:JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり  
埼玉県:南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき  
長野県:JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。\*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

## ●青果の検査について

\*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。  
\*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。  
\*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

\*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

## ●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済	谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
まいたけ	品目で検査済	雪国
マッシュルーム	品目で検査済	村悟空・三蔵
4種のきのこセット	品目で検査済	谷田部・雪国・丸金グループ *生しいたけから放射能が検出されました。
山えのき	品目で検査済	有倉

## ●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/3/22	9.5
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
4種のきのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

\*3/29、4/5の検査では生しいたけからの放射能の検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
なめこ	谷田部	2017/3/24	4.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コアフード 栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

\*白米では不検出でした

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ きなり	348 ひき肉と春雨のオイスターソース炒めセットのしいたけ	2017/3/1	5.5
コトコ きなり	347 もやしと豚肉のチャンブルーセットのしいたけ	2017/3/22	9.5
コトコ きなり	352 ポリュームたっぷりマザー春セットのしいたけ	2017/2/27	3.2
コトコ きなり	111279 鶏肉と野菜の治部煮		
コトコ きなり	312 風セットのしいたけ	2017/3/22	9.5
コトコ きなり	111309 肉野菜丼ぶりセットのしいたけ		
コトコ きなり	349 具だくさんの牛肉きんぴらセットのまいたけ水煮	2017/2/27	3.2
コトコ きなり	300		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

\*2回連続で不検出となった場合、3回目の不検出から検出された商品から不検出商品になります。

## ●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップエンドウなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

## 増え続ける汚染土処理の問題

除染された汚染土が福島県のみならず、関東でも汚染状況重点調査地域の指定を受けた自治体で除染したのちに貯蔵されています。学校の敷地に埋設していたり、空き地にフレコンバックにいられておいたり自治体によって様々です。

福島県ででた除染土については、双葉町・大熊町の間貯蔵施設に貯蔵されています。

どちらにしても、8000Bq/kg 未満の土壌及び焼却灰の減容化を国では検討をしています。減容し、再利用すると言うことが2016年6月に決定されました。

\* 減容化とは、廃棄や貯蔵にあたっての負担の減少させる他に、廃棄物するものの安定性を高めることにもつながる処理です。焼却処理、圧縮処理、溶融処理など、複数の手法があります。

### ● 減容化

汚染土の半分近くが 8000Bq/kg 以下で、現在でも一部の道路・コンクリート・防潮堤に再利用するために研究されています。「再生資材中の放射性セシウム(134Cs + 137Cs)の放射能濃度レベル(Bq/kg)(以下、「1 mSv/年相当濃度」という。)を算出し、再生資材の放射能濃度をこの濃度以下に制限する。」としています。「再生資材化した除去土壌の安全な利用に係る基本的考え方について」  
http://josen.env.go.jp/chukanchozou/facility/effort/investigative\_commission/pdf/investigative\_commission\_160630.pdf

放射性セシウムは壊変することによって、バリウムに変わります。またその際にγ線とβ線をだします。セシウム137の半減期とされる30年で放射線量は4割に減少するとしています。放射性物質は漏れ出さないのか、耐久性や安全性はどうかのが課題となっています。

法定レベル(100Bq/kg)になるのに170年かかるとされ、再利用化することは管理する土壌等を少なくするために必要な課題とされています。

### ● 放射線影響安全性評価検討ワーキンググループの2017年3月27日の非公開会合

再生利用を行う用途に、道路などの他に、緑地・公園の窪地などの穴埋めに使うということ今回で検討したことが報道されました。

行政の管轄となる緑地や公園で汚染土を再利用し、「放射線を遮蔽(しゃへい)するため数十センチ～1メートル程度の覆土を想定し、植栽も行う。」としています。

また、2月のワーキンググループでは、地震や豪雨に合った際の復旧作業などで汚染土が流れ出すなどのリスクがあげられていました。

減容化についての検討がなされるなか、リスクについて危惧する意見も聞かれます。子どもたちが遊ぶ公園や緑地に8000Bq/kg以下の放射能を含んだ土壌を埋設してよいのかという意見や埋めれば地下水汚染の危険性が高まること、森林の場合は植物が根から放射性物質を吸収することへの懸念などがあげられています。

## 行政検査の検出情報

### ● 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1025)」(2016/10/16～2017/3/17で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg以上検出された検体です。

#### イノシシ肉:群馬県片品村・沼田市ほか 260,220,210,190,180,140,120,100Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未滿で検出された上位数点です。

原木シイタケ:栃木県矢板市・宮城県加美市 4.1～34Bq/kg  
イワナ:群馬県中之条町(上沢渡川)ほか 4.6～28Bq/kg  
スズキ(海の魚):千葉県銚子市(銚子・九十九里沖) 0.76～20Bq/kg  
イノシシ肉:群馬県沼田市・渋川市ほか 9.8～94 Bq/kg  
ニホンジカ肉:群馬県川場村・沼田市ほか 11～90Bq/kg  
ヤマドリ肉:群馬県高崎市・中之条町ほか 23～65Bq/kg

### ● 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未滿で検出された上位数点です。

コモンカスベ(海の魚):福島県いわき市 9.8～23Bq/kg  
パパガレイ(海の魚):福島県広野町 10～21Bq/kg  
キツネメバル(海の魚):福島県富岡町 20Bq/kg

## パルシステムの放射能検査について

### ● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134,137の合計)			国の規格基準
2014年10月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

\* 乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)

\* 乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

## 3月の放射能検査状況

3月の検査で、しいたけから、生しいたけ(原木栽培)およびはねだし生しいたけからが3件(5.6、9.5、10Bq/kg)、その他のきのこ類からなめこが1件(4.4Bq/kg)、お料理セットのしいたけが2件(3.4、5.5Bq/kg)、お料理セットのまいたけが1件(3.1Bq/kg)の検出がありました。乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kgに下げましたが、現在まですべて不検出です。検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

### 放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	3月	3月の検出内容		3月
青果	37(0)		卵	0(0)
しいたけ	10(5)	原木しいたけ 5.6、9.5、10Bq/kg お料理セットのしいたけ 3.4、5.5Bq/kg	魚介類	31(0)
その他のきのこ類	21(2)	なめこ 4.4Bq/kg お料理セットのまいたけ 3.1Bq/kg	飲料水・飲料	8(0)
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品	9(0)
牛乳・乳製品	6(0)		その他加工食品	284(0)
肉類	7(0)		合計	413(7)

### 2016年度の放射能検査の状況(2016年4月～2017年3月)

青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3.2Bq/kgが検出されました。2017年2月に常総センターのれんこんで3件中1件(6.1Bq/kg)から放射能が検出されましたが、自主基準内でした。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1～13Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0～3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)、なめこが(4.4Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016年産米の検査は26産地67検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。米の検査は全産地終了しました。 *放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.4～11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	<大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。
	<その他> 2016年11月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(6.5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

### ● 検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

### ● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物